

中学生海外研修2026

2026.8.11

**Vol.3**



# オーストラリア直送レポート

## ドリップストーン校グループ

教育委員会社会教育課 栗栖 / 吉備中学校 平野

## ドライバー・ローズベリー校グループ

教育委員会社会教育課 高垣 / 御霊小学校 生駒

## 一歩ずつ国際交流を深めています！

### ドリップストーン校

8月11日(火)、ドリップストーン校での学校生活も2日目を迎えました。昨日の Welcome Assembly での緊張も少し和らいできたようです。今日も引き続きそれぞれのグループに分かれ、さまざまな授業に参加しました。

午前中、グループ1は Drama (演劇) の授業を体験。円になって座り、ウイंकで「相手を倒す」というゲームに挑戦しました。ウイंकをされた生徒は、倒される演技をしてその場に倒れます。その後は、現地の生徒たちがそれぞれのグループで演じる劇も見学しました。

Music の授業では、現地の生徒たちの発表を聞いた後、キーボードとギターに分かれ、4つのコードを使って実際に曲を演奏しました。楽器を通して一緒に音楽を楽しむことで、言葉だけではなく交流も生まれていました。

Hums (Humanities) の授業では、現地の生徒と一緒に「モノポリー」を楽しみました。ゲームを進めるためには自然と会話が必要になるため、楽しみながらコミュニケーションを取る機会にもなったようです。

一方、English の授業では、英語圏で親しまれている「ダンジョンズ&ドラゴンズ」という会話型の RPG ゲームに挑戦。日本の生徒たちにはあまり馴染みのないゲームだったこともあり、英語で進められる授業についていくのに必死だったようです。

また、現地の生徒たちが授業中に積極的に手を挙げて発言する姿も印象的でした。日本とは異なる授業の雰囲気に触れることも、今回の研修ならではの貴重な経験です。

昼休みには、それぞれが思い思いの時間を過ごしました。自分の研修テーマについて先生や現地の生徒に質問するなど、積極的に交流を図る生徒もいれば、少し疲れた様子でゆっくり休憩する生徒も。長時間の英語での学校生活の中で、自分に合った過ごし方をしていまし

た。

午後の授業でも、Design では昨日とは別のグループがジュース缶のデザインに取り組み、Cooking では日本の生徒たちが現地の生徒たちに混ざってマフィン作りに挑戦しました。マフィンを大きく作りすぎてしまうなど、楽しいハプニングもありましたが、それぞれが調理のミッションに取り組みながら、現地の生徒と会話を楽しんでいたようです。

PE（体育）では、走ることを中心に、バレーボールやバスケットボールにも取り組みました。昨日のリセスでもスポーツを通して交流する姿が見られましたが、今日も体を動かしながら自然と距離を縮めていました。

Art の授業では、ユーカリの葉を題材に絵に色付けをし、それぞれの作品を制作しました。オーストラリアらしい作品づくりも、現地ならではの体験となりました。

そして授業の合間には、団長・副団長がドリップストーン校の校長先生を訪ね、日本から持参したミニだるまなどのプレゼントを手渡しました。プレゼントについての説明も英語で行い、これまでの事前研修で練習してきた英語を実際の場面で使う機会となりました。

学校生活 2 日目。まだまだ英語でのコミュニケーションに戸惑う場面もありますが、昨日に比べると、現地の生徒と一緒にスポーツをしたり、ゲームをしたりする姿が印象的です。

「英語が完璧に話せなくても、まずはやってみる。」そんな経験を一つずつ積み重ねながら、生徒たちは少しずつドリップストーン校やホストファミリーとの生活に馴染んできていて、国際交流を深めています。





## ドライバー・ローズベリー校

ドライバー校の 2 日目の朝、昨日の放課後はホストファミリーとどんな過ごし方をしたのかを、それぞれ笑顔で楽しそうに話してくれました。

今日の 1 時間目はサイエンスの授業です。動物や自然に関するカードを使ったマッチングゲームに取り組みました。日本語を学んでいる現地の高校生にも手伝ってもらいながら、ゲームを通して楽しく交流しました。昨日の 5 限目に作ったペットボトルロケットを発射し、どのグループが一番高く飛ぶかタイムを測って競いました。その後、ドライバー校の生徒、ローズベリー校の生徒と一緒に、バスでクロコダイルパークを訪れました。クロコダイルやバラマンディ、ディンゴなど、オーストラリアならではの動物をはじめ、ホワイトライオン、バッファロー、さまざまな種類の鳥など、多くの動物を間近で見ることができました。

また、ワラビーに触れる体験もあり、生徒たちは大喜び。実際に動物に触れながら、オーストラリアの豊かな自然や生き物について学ぶ貴重な機会となりました。

学校に戻ってからは、ホストファミリーのお迎えの時間まで、体育館でバドミントンやバレーボールを楽しみました。ドライバー校の生徒とは 2 日間の活動を通して、言葉の壁を越え、笑顔で交流する姿が見られました。

夕方には、生徒を代表して団長が市長を表敬訪問しました。これまでのオーストラリアでできた経験や交流について話すことができました。今回の訪問を通して、これまで続けてきた日本とオーストラリアの交流の大切さを改めて感じるとともに、これからも両地域の交流を続けていくことへの期待を伝えました。

授業、動物とのふれあい、スポーツ、そして市長への表敬訪問など、盛りだくさんの一日となりました。さまざまな体験を通して、生徒たちはオーストラリアの自然や文化への理解を深めるとともに、現地の生徒との友情や交流を一層深めることができました。



